



PRESS KIT

150TH ANNIVERSARY
HIGH JEWELLERY COLLECTION

PIAGET
ESSENCE OF
EXTRALEGANZA



ピアジェは、創業150周年を
記念して、独自のスタイルにおける
贅沢さとエレガンスを際立たせる、
卓越したハイジュエリーウォッチ
コレクションを発表します。
ウォッチメーカーとジュエラーである
ピアジェは、ゴールドと色使いの
技巧に敬意を表し、カフブレスレット
やネックレスの流麗さと、
それらを飾る宝石の輝きが際立つ、
大胆で躍動感溢れる100点あまりの
クリエイションを通じて新たな
表現をしています。

PIAGET

ピアジェのスピリットを讃えて

1874年にラ・コート・オ・フェで創業し、薄型ムーブメントのスペシャリストであるピアジェは、1969年、今ではアイコン的なコレクションとなった「21st century」コレクションを発表し、初期のピアジェ スタイルを作りました。「常に必要以上によいものをつくる」をモットーとする、アーティストのような職人たちが作り上げたジュエリーウォッチ コレクションは、布のような質感の貴金属と鮮やかな色彩のオーナメンタルストーンが混ざり合う、有機的なデザインのカフウォッチやロングネックレスのアヴァンギャルドなスタイルが印象的でした。

それはウォッチを身に纏う新たなスタイルです。

2024年、創業150周年を記念して、ピアジェは、1960年代から1970年代のクリエイティブな黄金期を甦らせました。ピアジェのジュエリー&ウォッチ アートディレクター、ステファニー・シヴリエールはこう語ります。「2022年、150周年記念コレクションのデザインを開始したとき、伝統的な作品を同じように再現するのではなく、そこからインスピレーションを得ること、そしてメゾンの核心を成す大胆さ、独創性、エレガンスという価値観を新たな時代の幕開けに向けて見直すことを大切にしました。」

ジュネーブに位置する、ピアジェのハイジュエリー工房の卓越した製造技術により誕生した96点の作品は、ピアジェのクリエイションを特徴づける、華やかで洗練された、贅沢で色彩豊かな真の技法を讃えます。「エクストラレガンザのエッセンス」では、ゴールドを主役とし、宝石をスタイルの真の要素としています。これらのジュエリーを身に着ける女性や男性は、自由な精神を持った、独自のスタイルを追及する人々です。

デザイン、宝石の多様性、モデルの種類において豊かさを誇る150周年コレクションは、ピアジェを象徴する3つの世界観で構成されています。それは、「エクストラレガンザ」、「ピアジェ ソサエティ」、そして「卓越した技巧から生まれる芸術性」です。

PIAGET





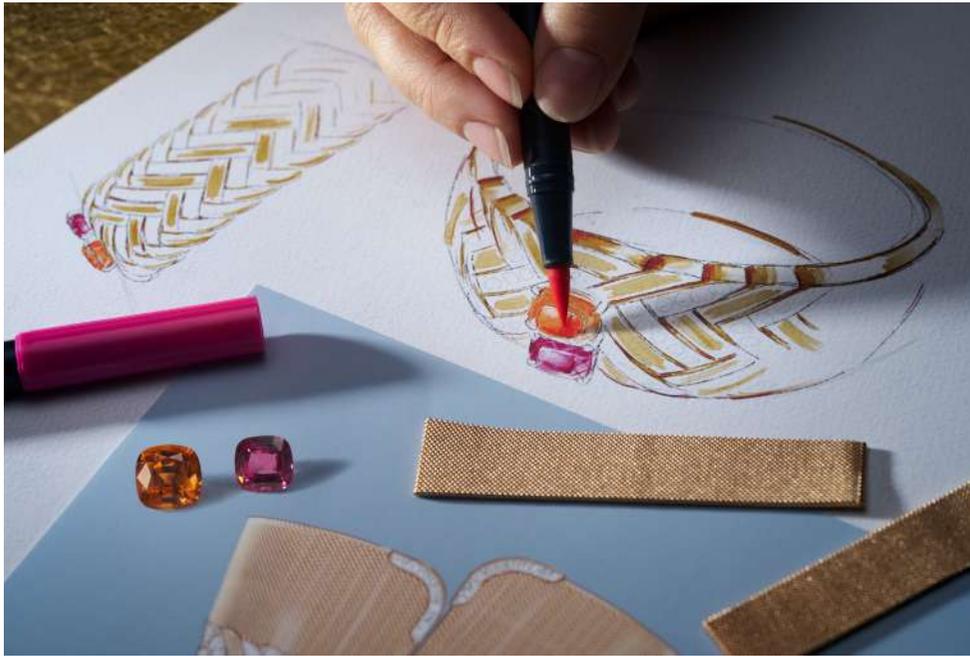
エクストラレガンザ

「extravagance (華やかさ)」と
「élégance (優雅さ)」の
融合から名付けられた
この第1章では、ゴールドと輝く光に
彩られた特別な宝石がセットされた
さまざまなモデルを通して、
ピアジェのクリエイティブな
スピリットと前衛的なスタイルが
表現されています。



1969年以来ピアジェを代表する作品である、ターコイズ、マラカイト、そしてイエローサファイアをあしらった見事なスウィング ソートワールがそれを表し、3通りの異なる着け方により、驚くほどの華やかさと流れるような動きを与えます。ブルーとグリーンのパールが配されたゴールドチェーンには、パヴェダイヤモンドが手作業でセットされ、6.11カラットのアクアマリンと29.24カラットのスリランカ産イエローサファイアが取り付けられています。これらの宝石が、ターコイズとダイヤモンドの台形文字盤を配した、取り外し可能なペンダントウォッチの上部に輝きます。このペンダントウォッチは、独自の方法によりブレスレットに取り付けることができます。

PIAGET



ピアジェは、カーネリアン、スペサタイトガーネット、イエローサファイア、ダイヤモンドをあしらったこの煌びやかなセットで、ピアジェ独自の華やかさを表現しています。技巧の傑作であるこのネックレスは、台形にカットされたカーネリアンがピンクゴールドにセットされ、鮮やかなオレンジのグラデーションが印象的です。ブリリアントカットダイヤモンドとイエローサファイアが光り輝くピンクゴールドのチェーンは、すべて手作業で作られ、カーネリアンとダイヤモンドを組み合わせた装飾が施されています。ネックレスの中央には、21.23カラットのクッションカットのスペサタイトガーネットが配され、セットのリングとイヤリングとともに、輝いています。

ピンクサファイア、スペサタイトガーネットがあしらわれた、変幻自在なゴールド製カフブレスレットには、ジュエリーの創造性とノウハウが見事に凝縮されています。ジュエリーのカットに見られるクチュールから着想を得てダイヤで縁取られたピンクゴールドのミラネーゼメッシュと、テクスチャー加工が施された格子編みのゴールド製ブレスレットに配された、ピアジェのアシンメトリーなテイストが丁寧に表現されています。1960年代初頭にピアジェが考案した、名高いDecor Palace (パレス装飾) が施された貴金属には、4.42カラットのマダガスカル産ピンクサファイアと6.40カラットのスペサタイトガーネットがセットされています。

PIAGET





1984年に制作されたモデルからインスパイアされた、このチタン製スカーフネックレスは、まるで色とりどりのシルクから切り取られたかのように見えます。サファイア、スペサタイトガーネット、トルマリン。色のグラデーションに応じて適切に配置され、それぞれの色に調和するように1500個のストーンがセッティングされています。

存在感と軽やかさを兼ね備えたこの作品は、ブレスレット、リング、そしてイヤリングがセットになっています。ブルーサファイアとダイヤモンドのツートンカラーのバージョンも同様にデザインされました。

ユニークなホワイトゴールドのネックレスに堂々と装飾された、この極めて稀少なラウンドカットのエメラルドの数々を集めるためには2年を超える時間を要しました。30カラットを超えるエメラルドがセットされたこの作品の美しさは、ラウンドカットやバゲットカットのエメラルド、パヴェセッティングの煌めくダイヤモンド、そしてDecor Palace (パレス装飾) が施されたゴールドといった、素材と様々なカットが見事に調和して生まれます。完璧なシルエットを描くこのモデルには、ラウンドカットダイヤモンドとバゲットカットダイヤモンドのマルケトリ細工が施されたボディに5.72カラットのコロンビア産エメラルドをあしらった、見事なリングがセットになっています。さらに、1つのモデルのリング、2セットのイヤリング、そしてフライング トゥールビヨンを搭載した薄型ウォッチがセットになっています。

ピアジェのシグニチャーであるブルーのシンフォニーが、宝石を贅沢にあしらったV字型のネックレスに表現されています。中央には、13.05カラットのマダガスカル産オーバル型シェイプカットブルーサファイアと、マーキスシェイプカットサファイア、トルマリン、アクアマリンが2列に配され、その周囲をオパール、ターコイズ、ダイヤモンド、そしてDecor Palace (パレス装飾) がエングレービングされたゴールドのパーツが流麗さを強調しています。これとコーディネートするのが、耳元を華やかに彩り、ピアジェが得意とするイヤカフです。そして、リングがこのセットを完成させ、各ピースの裏面には、「Decor Palace (パレス装飾)」が施されています。

PIAGET



卓越した技巧から生 まれる芸術性



ピアジェの職人たちの卓越した技術と、クチュールに対するピアジェの歴史的なテイストが相まって、ゴールドという素材にさまざまなノーブルなテクスチャーと、これまでにはない流れるような動きが生み出されます。

このハイジュエリーコレクションのテーマとなるのは、約56カラットのピンクとパープルのサファイア26個という驚くべきセッティングが施されたカフを取り囲むツイストゴールドです。宙に浮いているようなゴールドのロープは、それぞれの宝石の有機的なフォルムに沿った流れを描きます。それはゴールド加工におけるジュエラーのセンスが発揮されています。同様に、ピアジェはパープルサファイアをあしらったリングと、同色の18個のサファイアをあしらった華やかなイヤリングもデザインしました。

約40個のコロンビア産のバゲットカットのエメラルドを見つけるということは、並大抵のことではありませんが、26.11カラットのエメラルドをあしらった、驚くべきウォッチを誕生させました。バゲットカットのエメラルドとダイヤモンドがモザイク状に散りばめられ、その一部が側面から溢れ出るような輝きを放ち、このユニークなウォッチにオリジナリティを与えています。イエローゴールドのツイストチェーンで立体的に強調されたそれぞれのエレメントは、作品に奥行きを与えるために異なる面に取り付けられています。グリーンのエナメル文字盤を備えたこのウォッチの極めて洗練されたデザインは、ピアジェが自らのヘリテージを再構築するために必要な、卓越した技術を証明しています。2.53カラットのエメラルドからダイヤモンドが散らばる大胆なデザインのリングがこのウォッチのセットです。一方、並外れたソリテールには、バゲットカットダイヤモンドとイエローゴールド製ツイストチェーンのマルケトリ細工のモダンなラインに、4.15カラットのペアシェイプカットダイヤモンドがあしらわれています。また、アシンメトリーなイヤリングも合わせてデザインしました。

この唯一無二のコレクションは、ピアジェのウォッチとジュエリーメイキングという、2つの専門技術を象徴するものです。ピアジェの細部に至るまで完璧を貫くピアジェの姿勢を表しています。過去と現在が融合し、新たな匠の技が生まれます。

PIAGET

ピアジェ ソサエティ

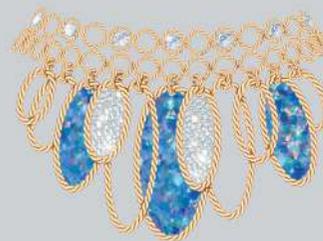
第2章では、ピアジェの大胆さと、ジュエリーに対する独自のアプローチを讃えます。ここでは、色彩豊かなジュエリーが、デザイン性と結びつき、身に着ける人々の変化し続ける人生を暗喩しています。

ピアジェの伝統を反映した、革新的なエレガントなピンクゴールド製のネックレスは、手作業でゴールドを縋りながら作り上げられました。ネオセブティーズ風の大胆なデザインは、身体の動きに合わせて沿うようなラインが特徴です。ラウンド型やオーバル型が連続するソリッドで細身の形、そして大きなオパールプレートやスノーセッティングされたダイヤモンドが特徴的です。また、「時のジュエラー」として知られるピアジェがデザインしたダブルプレートのリングとイヤリング、そして素晴らしいウォッチも登場します。

まるで首元を美しく彩る見事な縄のようなこのロングネックレスは、1300個以上のカボションカットターコイズがピンクゴールドにセットされています。6つのターコイズビーズによって色の深みが強調され、まるで本物の青い宝石でできたロープのような錯覚を起こします。このカリスマ的な作品の流れるような動きは、ターコイズビーズをあしらい、上質なゴールドチェーンによって高められています。ゴールドとダイヤモンドのフリンジがターコイズの文字盤の周りを包み込む、変形可能なカフブレスレットもセットになっています。

ピアジェのアイコンであるカクテルジュエリーへオマージュを捧げる、素材の特徴を生かした官能的で、不透明な輝きを放つこのネックレスは、マーキスカットのグリーントルマリンとブリリアントカットのダイヤモンドがパヴェセッティングされたひし形枠の複雑な組み合わせに、さまざまなサイズのターコイズビーズがあしらわれています。16.83カラットのスリランカ産ペアシェイプカットイエローサファイアが際立ち、セットのリングには、26.55カラットの見事なグリーントルマリンが黒檀、ダイヤモンドとラグーントルマリンをちりばめたリング枠に施されています。同じく天然木を素材に使用した、ターコイズとトルマリンで縁取られたボリューム感のあるカフには、ストローを模したダイヤモンドがあしらわれており、ブローチとして着用することもできます。

PIAGET



ピアジェについて

ピアジェの独特の魅力はその大胆なスタイルにあります。1874年の創業以来受け継がれるクリエイティビティー溢れるスタイルは、華やかな時計やジュエリーに体现されています。大胆な創造性に対する情熱は、スイスのジュラ山脈にあるラ・コート・オ・フェで生まれました。メゾンの創立者であるジョルジュ=エドワール・ピアジェが、その村にある家族の農場の中に最初の工房を設け、高性能ムーブメントの制作をはじめたのは1874年のことでした。このときから時計職人としてのピアジェの名は広く知られるようになります。パイオニア精神を大切にするピアジェは、1950年代後半に薄型ムーブメントの設計・製造に乗り出しました。メゾンを代表する

「アルティプラノ」の礎石となるそのムーブメントはピアジェの代名詞のひとつになり、時計製造の世界に確かな足跡を残しました。同時に、ピアジェは常に創造性と芸術的な価値に重きをおき、ゴールドと色とりどりのカラーの融合、新しいシェイプ、高価な宝石、オーナメンタルストーンの文字盤といったスタイルを受け継いできました。卓越したクラフツマンシップのもと、メゾンは「アルティプラノ」、「ピアジェ ポロ」、「ライムライト ガラ」、「ポセション」、「ピアジェサンライト」「ピアジェ ローズ」、「エクストリームリー ピアジェ」などの素晴らしいクリエイションを創り続けています。

PIAGET

WWW.PIAGET.COM

WWW.FACEBOOK.COM/PIAGET

WWW.INSTAGRAM.COM/PIAGET/

WWW.PINTEREST.COM/PIAGET/

WWW.YOUTUBE.COM/PIAGET

[WWW.LINKEDIN.COM/COMPANY/](http://WWW.LINKEDIN.COM/COMPANY/PIAGET)

WEIBO.COM/PIAGET

#POSSESSION

#MAISONOFEXTRALEGANZA

#PIAGET150

#PIAGETSOCIETY

P

